

守られる暮らしから 守る暮らしへ

「自主防災組織」という言葉を聞いたことがありますか？

「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識のもと、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行う自主的に結成された組織のことです。

9月1日は「防災の日」です。

郭内地区自主防災会の取り組みをご紹介します。

地域の一人ひとりが防災要員

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、二本松市内でも家屋被害や電気・水道などのライフラインが停止するなど多方面に被害が及びました。

こうした大災害の発生直後は、市役所や消防、警察等の防災関係機関が行える活動には限界があるため、市民の助け合いが欠かせません。

災害時に落ち着いて行動するためには、日頃からの心構

えと備えが必要となる他、自分の身は自分で守る（自助）とともに、地域の人との協力により助け合うこと（共助）によって、災害による被害を予防し、軽減することが大切です。

郭内地区自主防災会は平成13年に結成され、初期消火訓練や炊き出し訓練などを行い、災害が起きてもすぐに対応できるように備えています。



非常食でもおいしい アルファー米

今年6月に実施された自主防災活動訓練の1つ。婦人会や女性防火クラブの皆さんが、非常食調理体験を行い、最後に参加者全員でアルファー米を試食しました。

顔の見える地域は 災害に強い地域になる

「防災」の意識づけが
私たちの役目です

6月26日に開催した郭内地区
区自主防災会の総会と自主防

災活動訓練には、地域住民、町
内会をはじめ、消防団、女性防
火クラブや婦人会各種団体の
皆さん約100人に参加いた
だきました。

これまでにAED講習会や
初期消火訓練の実施、消防署
の見学など、地域防災につい
て地区住民と一緒に学ぶ機会



郭内地区自主防災会
会長

菅野茂男さん
Sugeno Shigeo

を設けています。また、他の
団体や地域住民の方と顔を合
わせることで、ご近所のつな
がりも深まり、地域の防災意
識の高揚に役立つ場にもなっ
ています。

そして、自主防災会の大き
な役目は、普段の生活で忘れ
がちな「防災」について、研修
や訓練を実施することで意識
づけしていくこと。地道な活
動ですが、地域の皆さんの協
力と理解をいただきながら、
これからも活動を続けていき
たいと思っています。

地域住民が参加 岩代地域防災訓練

災害発生時における応急対
応を迅速かつ的確に行えるよ
う、消防団をはじめとする関
係機関や地域住民参加のもと、
防災訓練を実施します。

開催日時

9月18日(日)

午前9時～正午

開催場所

新殿小学校

注意事項

- ・サイレン吹鳴や消防車等による訓練を行いますので、火災等と間違えないようご注意ください。
- ・二本松市内を対象として、携帯電話へエリアメール(緊急速報メール)を送信します。

訓練内容

通報・情報収集・避難・応
急救助・救出・消火・炊き出し
訓練ほか、防災ヘリによる救
助訓練や、はしご車・消火訓
練車の展示等を行います。



▲昨年安達地域で開催された防災訓練の様子

防災訓練を実施します

◎問い合わせ:

岩代支所地域振興課

市民福祉係

☎(05)2816